

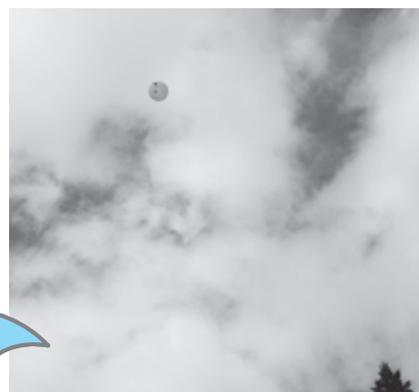
ほくたん^{だよ}便り

No.7 2009 (平成21年)
5月発行

■編集／発行：北但行政事務組合
■組合構成市町：豊岡市・香美町・新温泉町

生活環境影響調査、 埋蔵文化財調査を実施!

処理施設建設地である森本区・坊岡区において調査を開始するとともに、両区民の皆さんに先進地を視察し、安全・安心性を確認していただきました。



上層気象調査 (H21.4.17)



森本・坊岡区民 岡山市東部クリーンセンター見学 (H21.3.26)



埋蔵文化財試堀調査 (H21.3.23)



北但行政事務組合とは

広域ごみ・汚泥処理施設の設置及び維持管理並びに広域ごみ・汚泥の処理に関する事務を共同して処理するため、豊岡市、香美町、新温泉町の北但1市2町で組織する一部事務組合です。

1市2町人口 128,520人 (H21.5.1現在)



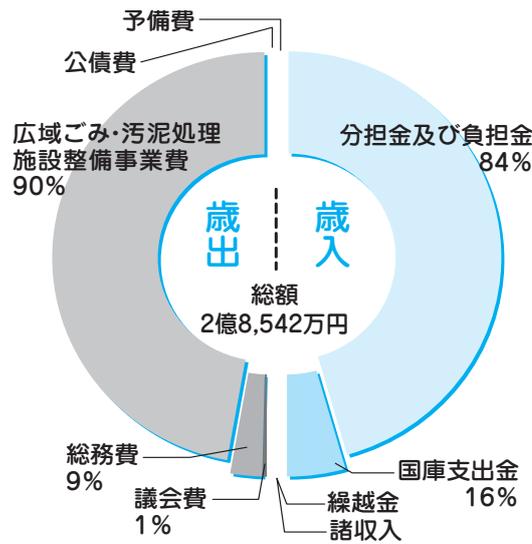
「ほくたん便り」は、資源保護のため環境に優しいソイ（大豆）インキで印刷しています。

組合ニュース

◎平成21年度 予算について

平成21年度の組合一般会計予算額は、歳入歳出それぞれ2億8,542万円で、そのうち、広域ごみ・汚泥処理施設整備事業費は、2億5,641万4千円となっています。主な事業計画の内容をご紹介します。

歳入 (千円)		
分担金及び負担金	239,698	
国庫支出金	45,719	
繰越金	1	
諸収入	2	
歳出 (千円)		
議会費	2,507	
総務費	26,149	
広域ごみ・汚泥処理施設整備事業費	256,414	
公債費	50	
予備費	300	
負担金のうち各市町割合 (千円)		
豊岡市	153,855	64.2%
香美町	46,080	19.2%
新温泉町	39,763	16.6%
計	239,698	100.0%

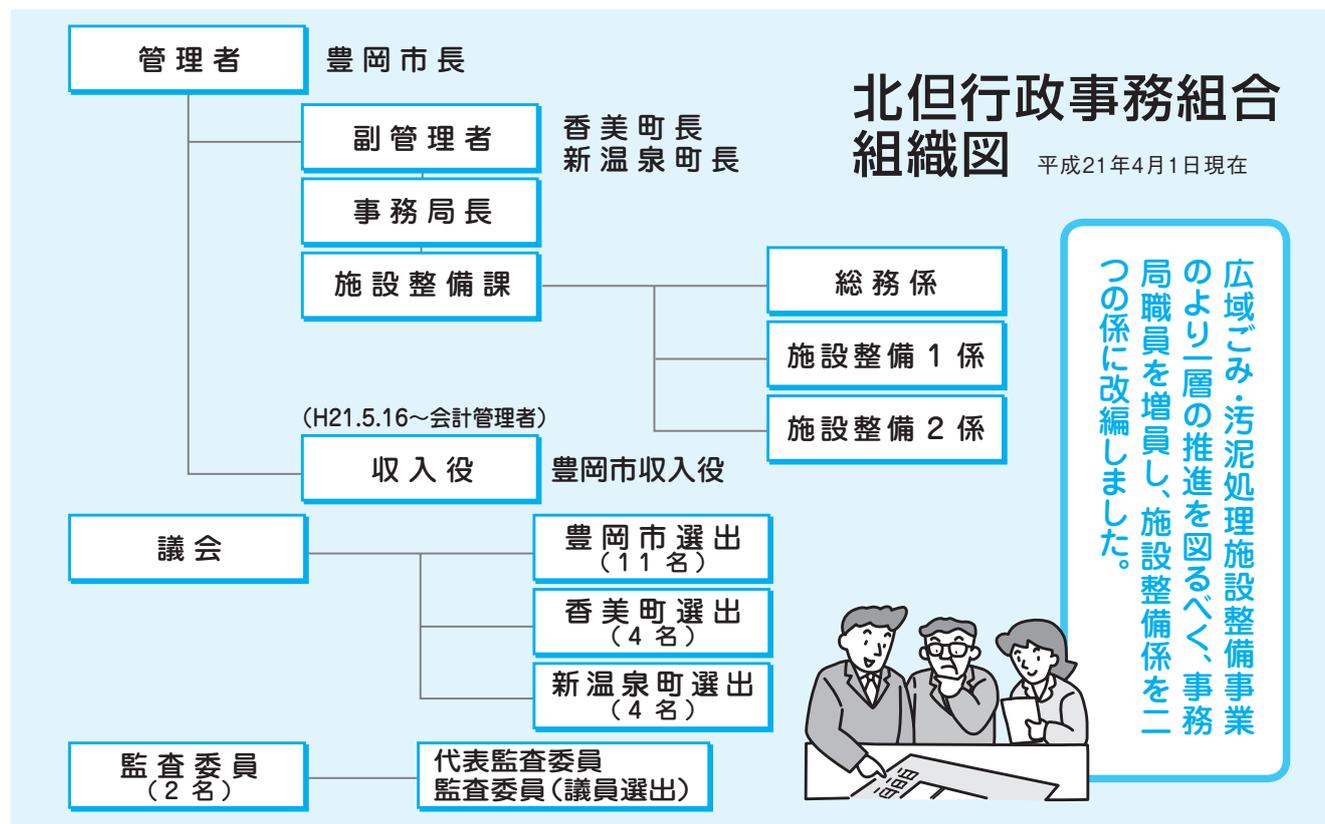


平成21年度

広域ごみ・汚泥処理施設整備事業 主な事業計画

項目	計画内容等
生活環境影響調査業務	廃棄物処理法により義務付けられた調査を、昨年度に引続き実施します。
敷地造成実施設計業務 A≒5ha	20年度に実施した基本設計に基づき、工事発注に必要な平面図、縦横断面図、構造物の詳細設計図、設計計算書、数量計算書等を作成します。
進入道路等詳細設計業務 L≒800m	20年度に実施した基本設計でのルート選定に基づき、進入道路、付替河川及び橋梁の工事に必要な詳細構造を設計し、経済的かつ合理的に、工事の費用を算定するための資料を作成します。
路線測量業務 L≒800m	基本設計でルート選定した進入道路及び付替河川について路線測量（中心線測量・縦横断測量等）を行います。
地質調査業務	敷地造成・進入道路・橋梁の構造物の基礎構造設計及び斜面の安定計算等に必要な資料を収集するために地質調査を行います。
水源・水質調査業務	施設の稼動に必要となる冷却水等の水源を確保するために水源、水質の調査を行います。
埋蔵文化財調査業務	20年度の調査結果により、施設用地及び進入道路の建設地において、埋蔵文化財の調査を行います。
土地鑑定、補償費積算業務	用地買収における適正な補償費算定のために土地鑑定及び補償費積算業務を行います。
都市計画図書等作成業務	都市計画決定を行うために必要な申請図書を作成します。
施設基本設計業務	施設に係る環境影響評価の予測条件及び見積り仕様書の基礎資料にするために、施設整備基本計画を踏まえ、土木・建築及び機械設備について、その基本となる設計を行います。
用地補償費 A≒5ha	建設用地の用地買収及び立木の補償を行います。
検討委員会等協議	生活環境影響調査の実施における調査項目、箇所の協議、説明、報告、また進入道路のルート選定等について、検討委員会と組合で協議を行うこととしています。

項目	計画内容等
地元説明会・学習会・先進地視察等	該当区及び周辺地区住民の皆さんを対象に、昨年に引続き事業説明会、環境学習会、先進地視察等を実施し、更なる理解、協力と安全・安心性を確認していただくよう努めます。
組合広報紙・ホームページ作成・運営業務	定例2回分とお知らせ版を1回程度発行するとともに、ホームページを適時更新し、事業の経過、取組み、必要性を広く、分かりやすく伝え、事務事業について広報し、住民の皆さんに理解を深めていただきます。





ホームページを
開設しています

北但行政事務組合では、ホームページを開設し、これまでの取組みや協議内容などを公開しています。下記のURL（ホームページアドレス）をご覧ください。

URL <http://www.hokutan.jp>

議会通信

2/13~2/23

2月組合議会 定例会を開会

陳情は不採決になりました。

第70回組合定例会を2月13日から23日までの11日間の会期で開会しました。

管理者提出議案として事件決議1件、条例1件、予算2件の計4件を提案し、いずれも原案のとおり可決されました。

また、「全住民に環境影響調査の受け入れ是非の意思を問う陳情」が上程されましたが不採択となりました。

北但1市2町にはそれぞれごみ処理施設がありません。今回はその中から、香美町の矢田川レインポーをご紹介します。

●安全なごみ処理

当施設は平成6年4月から稼動し15年を経過しました。それまで旧3町（旧香住町・旧村岡町・旧美方町）でそれぞれ行っていた焼却施設を1ヶ所に集約し、合わせて缶・ビン・金属類を回収するための資源化施設と最終処分場も併設してごみ処理を行っています。

焼却施設は8時間運転で、香美町民約21,000人と町内事業所が排出するごみを、安全・安心・安定的にまた経済的に処理しています。当施設は稼動以来、定期的に点検を行い、施設を安定的に効率良く稼動させるため、必要な修繕や整備工事を実施しています。焼却による排ガスや埋立地の水質について



施設紹介 矢田川レインポー編

も、法律で定められた基準より更に厳しい自主基準を設定し、施設の運転管理を行っています。

平成14年にはダイオキシシン類削減対策工事を実施しました。また、施設内の雑排水につきましては、場内排水処理施設で処理し焼却炉排ガスの冷却水として再利用を行い、場外には放流しないようにしています。

平成20年度、ごみ処理に要

した経費は、約1億5千2百万円（収集運搬費を除く）、ごみ処理量は6,883トン、ごみ1トンを処理する経費は約2万2千1百円かかりました。

●新施設の必要性

施設は適正な維持管理により正常に運転することができませんが、当施設の焼却炉は夜間稼動停止し、朝バーナーで点火して焼却するバッチ式の焼却炉です。

稼動時の焼却炉内は850℃前後の高温で燃焼し、夕方から朝までは停止し、炉内は100℃程度まで
 ▲プラスチックの手選別作業も
 行っています。



▶中央制御室。近代的な機器で作業もスムーズにされます。

下がることの繰り返しで毎日運転を行っています。激しい温度変化と燃焼時の高温負荷により炉内耐火物の消耗が激しく、毎年度の施設修繕に要する費用も年々増加しています。

また、粗大ごみ処理施設の回転式破砕機につきましても、金属でできた製品を回転する鉄のハンマーで細かく砕く装置であり、機械に対する負荷も大きく損傷を受けやすい状態であるため、安定的にごみ処理を行うためにも施設の更新が必要です。

平成16年に行った精密機能検査では、稼動20年を経過す

る平成25年ごろに耐用年数を迎えるとの結果となっており、私たちの日常生活で使用している製品と同じように、機械には必ず寿命があります。修理等を行うことによりいくらか寿命を延ばすこともできますが、交換部品の製造中止や補修費等の費用も増加し、適正な処理ができなくなる可能性が高くなります。施設は余裕を持って安全・安心・確実に、また効率良く経済的にごみを処理するためにも、新しい処理施設が必要です。

施設紹介

◆施設概要

[所在地] 香美町香住区大野165-2
 [施設稼動] 平成6年4月
 [処理方式]
 焼却炉 機械化バッチ式(8時間)焼却炉《ストーカー式》
 28t/日・8H(14t/日×2炉)
 破砕機 ロールフィーダー回転ハンマー式破砕機
 12t/日・5H
 手選別 ベルトコンベヤー 7t/日
 最終処分場 面積 16,800㎡ 埋立容量 72,000㎡
 浸出水処理施設 60t/日